

教 育 研 究 業 績

令和8年 5月21日

氏名 高瀬 雄二
学位： 教育学修士

研 究 分 野

研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド

教育学

教科教育 社会科教育 問題解決学習 総合学習 探求学習

主要担当授業科目

社会科指導法 社会

教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項

事項

年月日

概要

<p>1 教育方法の実践例</p> <p>(1)小学校の授業を想定し、小学校教員として、現場ですぐに役立つ指導力を身に付ける実践授業</p> <p>(2)小学校教育実習に於ける模擬授業での指導案検討や授業準備について</p> <p>(3)課題レポートへの毎回のコメントによる個別最適な学びを確立</p> <p>(4)教育原理（東京成徳短期大学幼児教育学科に於ける教育原理を担当）に於ける実践と関連づけた教育原理の講義の実践</p>	<p>令和6年4月～現在</p> <p>令和6年4月～現在</p> <p>令和6年4月～現在</p> <p>令和6年9月～令和7年3月</p>	<p>東京成徳大学での教科指導法（社会科指導法、社会）の授業では、実際の小学校現場を想定し、学生が教師として、小学生に具体的指導ができるよう配慮して進めている。小学校における具体的な児童の反応や実践事例、映像等を取り入れ授業を進めている。また、ペアワークやグループ討議を積極的に取り入れ、全体で発表したことをまとめて一定の知見として導けるように工夫している。</p> <p>また、UNIPA や Teams、Forms 等を活用し、グループ協議や模擬授業などを取り入れている。また、アクティブラーニングを実現できるように発表された内容を全体に提示し授業を構成するように工夫している。</p> <p>小学校教員として実践した事例をもとに、教育実習の充実に繋がられるように配慮している。また、教員採用試験の合格を見据え、具体的な事例や冊子を紹介しながら、実践的な指導力の育成を心がけている。</p> <p>毎回、課題レポートを回収している。そして、復習と予習に活かせるように、各学生の理解度に応じたコメントを個別に返信している。そのため各学生の理解をより深められるようになった。最終的には、小学校教員になるための意欲に繋がられるように心がけている。</p> <p>東京成徳短期大学幼児教育学科の1年生の必修の授業として保育園、幼稚園、こども園等の現場での実践を踏まえ、教育原理の講義を実践した。特に、西洋と日本の教育思想、哲学、教育史を学ぶ上で現在の幼児教育に関連付け学生が興味関心を高められるように、グループ協議やエンカウンターを取り入れたミニゲームを中心に講義を進め学生からは一定の評価を得られた。</p>
<p>2 作成した教科書、教材</p> <p>(1)本学授業での提示資料等</p> <p>(2)授業での教科書、配付資料</p>	<p>令和6年4月～現在</p> <p>令和6年4月～現在</p>	<p>各授業では、ホワイトボードにプロジェクター等でPC画面の資料提示するように心がけている。毎回の授業ではプレゼン内容と同様の資料と課題レポートを配布している。小学校学習指導要領やその関連の講義内容を確実に理解し、自らの考えをもてるような独自の教材や配布資料を作成している。</p> <p>日本文教出版で編集発行している、安野功先生(前國學院大学教授：元文部科学省小学校社会科教科調査官)著「授業力アップを目指す先生のための社会科のABC」「授業力アップを目指す先生のための社会科のABC 評価編」他の冊子（教科書発行者行動規範に則り配布を許可された小学校現場での若手育成用資料としての小冊子）を活用して実践的な小学校での社会科指導方法について授業を具体的に進めている。</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p> <p>(1)学生による授業評価</p>	<p>令和6年4月～現在</p>	<p>昨年度の授業評価アンケートでは、学生より全ての項目(Q1-Q8)で平均77.5%の肯定的評価を受けた。2項目で100%の評価を受けた。また、主体性を育む授業形態を取り入れていることで、学生からの自由記述からは「先生になった時に大切なことなどをたくさん教えてくれて良かったです。指導の仕方についてイメージが少しずつ湧いてきました。まだ不安なので概説もとろうとおもいます。授業内のプリントに毎回毎回コメントをくださり、積極的に授業に取り組もうと感じることができました。とても良かったです。ありがとうございました。学生に寄り添った分かりやすい授業でした。将来、小学校教師として子どもを教える立場に立つための基礎・基本を教えて頂き、14回とても学びのある授業展開だった。ご自身の経験やわかりやすい資料をもとに、要点を絞って教えていただけたと思う。授業内での学生の発言を受け止めてくれるため、より学んで行きたいと思える授業だった。親味になってアドバイスをしてください。手助けしてくれるいい先生です。恩師の1人です。」</p>

		<p>という意見を受けた。これらの評価は、対話的な授業展開を心がけてきたことや各学生が小学校での教員としての実践力が身に付くように、一人ひとり学生の小学校での原体験をもとに授業をしてきたことの成果であると確信する。</p> <p>さらに、この評価をもとに、本年度は、コンピュータでプレゼンを毎回AIを活用して作成する。UNIPAのクラスプロファイルやTermsやFormsを活用し、具体的な指導資料を配布及び提示していく。そして、更に、学生からの意欲的な授業への参画が見取れるよう授業準備をする。そして、学生からの授業評価では、昨年度同様に肯定的な回答を多数得られるように授業改善を心がけていく。</p>
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
(1)教育実習生への指導・育成	平成2年～18年3月	東京都公立小学校に勤務していた34年間にのべ数十名の教育実習生を担当した。また、その中から現在も多く的小学校教員として勤務している現職教員もいる。中には、副校長に昇任している教員もいる。
(2)現職教員への指導助言	平成18年4月～平成20年3月	足立区教育委員会より、平成18年度足立区に採用された初任者・新規採用者教諭研修推進委員会委員として委嘱され足立区内の初任者教諭の育成研修を運営した。
	平成19年4月～平成20年3月	墨田区教育委員会指導主事として初任者研修を担当し、多くの新規採用教員への指導育成を経験した。初任者 教員の指導育成の主担当や教員研修全般の企画・推進を担った。
	平成20年4月～平成26年3月	主幹教諭として校内で初任者、若手教員、教育実習生への積極的な育成はもとより、指導者として担当する教員に対しても、どの様に若手教員を育成するかについて組織的に指導助言を行った。
(3)教育管理職として若手教員への指導助言	平成26年4月～令和6年3月	教育管理職として、校内全体で、若手教員及び教育実習生への指導育成に関わった。また、組織として若手教員育成に対応できるように学校経営の中心に「人材育成の観点と働き方改革の視点」を据え、学校経営計画を立案した。そのため、在職中に、若手教員を誰一人として途中でリタイアがでなかったことを自負している。
5 その他		特記事項なし
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許 (1)教員免許	昭和62年3月 昭和62年3月 平成16年3月	小学校教諭一種 小教1普 第1800号小全 東京都教育委員会 中学校教諭二種 中教2普 第3158号国語 東京都教育委員会 小学校教諭専修 小教専修 第54号小全 東京都教育委員会
(2)社会教育主事 (3)学校図書館司書教諭	昭和62年3月 昭和62年3月	社会教育主事 免許番号 第30号 青山学院大学 図書館司書教諭 免許番号 第141012号 文部省
2 特許等		特記事項なし
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
(1)小学校教員としての実務と授業実践	平成2年4月～平成19年3月	台東区立谷中小学校、足立区立花畑第一小学校、足立区立西新井第一小学校、足立区立千寿桜小学校、高学年を中心に担任を担当し、体育、社会科、視聴覚教育(ICT教育、情報教育)含め、全教科等の指導を行なった。校務分掌としては、教務主任、生活指導主任、研究主任として教育課程の編成や管理運営を行なった。学習材や単元の開発、指導方法の工夫・改善、学校全体としてのカリキュラム編成や教育評価の在り方等について積極的に取り組んだ。
(2)教育委員会指導主事としての実務と指導	平成19年4月～平成20年3月	墨田区教育委員会事務局で、指導主事として、区立幼稚園小中学校の教育活動への指導助言を通して、授業改善を行なった。小学校3年生の社会科副読本の全面改訂、編集執筆を行なった。初任者、新規採用教員の指導育成の担当や教員研修全般の企画推進を担った。
(3)小学校主幹教諭としての実務と指導	平成20年4月平成26年3月	台東区立松葉小学校、台東区立富士小学校、足立区立花保小学校にて高学年を中心に担任を担当し、体育、社会科、視聴覚教育(ICT教育、情報教育)含め、全教科等の指導を行なった。校務分掌としては、教務主任、)生活指導主任、校務運営担当主幹として教育課程の編成や管理運営を行なった。学習材や単元の開発、指導方法の工夫・改善、カリキュラム編成や評価の在り方等について積極的に取り組んだ。

(4) 小学校管理職としての実務と指導	平成 26 年 4 月～令和 6 年 3 月	足立区立亀田小学校副校長、足立区立花畑第一小学校副校長、大田区立矢口東小学校副校長、江戸川区立松本小学校校長、江戸川区立西葛西小学校校長として、各校の教育課程の編成と管理、人材育成、特に、初任者、新規採用教員、若手教員、大学卒業後、未採用の産休育休代替教員への指導育成を丁寧に行なった。また、この間、各大学からの教育実習生を積極的に受け入れた。その数、十数人が、現在、都内各小学校で、実際の教員として働いている。
(5) 東京都視聴覚教育研究会における活動	平成 8 年 4 月～令和 6 年 3 月	東京都視聴覚教育研究会に所属し、小学校に於ける視聴覚機器の利用、ICT 教育、情報教育推進に携わってきた。その中では、教育用コンピュータソフトの開発や実践利用について研究開発に関わっている。
(6) 各地区小学校教育研究における活動	平成 2 年 4 月～平成 29 年 3 月	台東区小学校教育研究会、足立区小学校教育研究会、社会科部、視聴覚部に所属し、研究活動を中心に若手教員への指導助言、研究授業等の実践授業の公開等を積極的に行なった。
4 その他 台東区教育研究所研究委員	平成 4 年 4 月～平成 8 年 3 月	パソコン授業開発研究（学校への PC 導入段階に於ける、教育利用について多角的に検討、教育利用検討、授業での ICT 利用の実践研究を行なった。）
東京都内各地区教育委員会及び小学校校内研修 会講師	平成 8 年 4 月～平成 14 年 3 月	足立区教育委員会、台東区教育委員会、練馬区教育委員会、台東区立根岸小学校、台東区立黒門小学校、台東区立台東小学校、台東区立石浜小学校、足立区立花畑西小学校、足立区立洲江第一小学校他多数、研修会、研究会での講師、学校教職員へのコンピュータ操作研修会講師、コンピュータ教育利用研修会講師、コンピュータ教育利用ソフトウェア開発委員、情報機器検討委員、インターネット教育利用推進委員及び講師を多数依頼され各地区、各校で指導した。
東京都小学校視聴覚教育研究会講師	令和 7 年 10 月 9 日	中野区立美鳩小学校 第 3 学年国語(書写)「左はらい」と「右はらい」研究協議会講師
足立区教育委員会教育研究員	平成 9 年 4 月～平成 10 年 3 月	情報活用能力を高める指導の工夫（小学校・中学校）-情報リテラシーの育成を目指して-について先進的な教育課題の課題を先鞭を切って授業実践を実施した。
第 4 3 期 東京都教育研究員(小学校社会)	平成 10 年 4 月～平成 11 年 3 月	(全体研究主題)自分なりの考えをもち、意欲的に追求する社会科学習(第 5 学年研究主題)調べる過程で、自らの考えを高めるための学習活動の工夫、第 5 学年分科会に所属し社会科学習について実践研究した。
文部省助成による教職課程における教育内容・ 方法に関する開発研究「教育課程及び指導方法 に関する科目・特別活動の指導方法」部門研究	平成 9 年 4 月～平成 12 年 3 月	特別活動の理論と実践」における教育内容・方法に関する開発研究-特別活動を指導する実践的指導力の養成を中心として-
文部科学省委嘱研究 日常生活と学習内容の関連性を重視した教材集 作成委員	平成 15 年 4 月～16 年 3 月	日常生活教材作成研究所会(国立教育政策研究所内)における教材作成及び実践「総合的な学習の時間における実践発表 人の誕生と成長の秘密を探ろう-男の子・女の子その時の心と体は-
法務省人権擁護委員	令和 7 年 10 月	台東区議会での承認及び推薦を得て令和 7 年 10 月より人権擁護委員として台東区内小学校での人権教室、中学校の人権作文の選考等の実務を行なっている。

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概要
(著書) 1 「小学社会」教科書及び指導書 (文部科学省検定済教科書)	共著	平成 17 年版 平成 23 年版 平成 27 年版 令和 2 年版 令和 6 年版	日本文教出版 日本文教出版 日本文教出版 日本文教出版 日本文教出版	5 年「わたしたちのくらしと水産業」 5 年「自動車工業のさかんな地域」 6 年「わたしたちの願いと政治のはたらき」 5 年「情報を生かして発展する産業」 3 年「店ではたらく人々の仕事」 平成 15 年から日本文教出版の教科書及び指導 書、デジタル教科書についての研究開発に携わ り現在までその執筆及び編集を行っている
2 小学校 3 年社会科副読本「わたしたちのすみだ」	共著	平成 20 年版	墨田区教育委員会	指導主事として、編集、取材、分担執筆「墨田 区全体を俯瞰する単元」

3 小学校3年社会科副読本「わたしたちの台東区」	共著	平成20年～24年版	台東区教育委員会	編集、分担執筆 「わたしたちのまちの工場たんけん」(pp42～52)靴工場の単元開発
4 小学校3・4年 社会科副読本「わたしたちの足立と東京」	共著	平成25年～29年版	足立区教育委員会	編集、分担執筆 「さあ、社会科がはじまるよ～！」(pp2～9) 社会科の学習をはじめて取り組む3年生向けのオリエンテーションページの開発
5 教職研修総合特集 「生きる力」を育てる新しい授業 《全6巻》No2 学習環境の創造—実践の工夫と技術—	共著	平成9年10月1日	教育開発研究所	編集代表 加藤幸次(上智大学名誉教授) 編集 加藤幸次/佐久間茂和 3Third step 学習環境を生かし多様に学ぶ普通教室での取り組み コンピュータを活用する (pp177～183)
6 教職研修総合特集 子どもを伸ばす少人数指導の工夫と実践	共著	平成14年10月1日	教育開発研究所	編集 加藤幸次 3-3 少人数指導とティームティーチングについて (pp79～82)
7 ビンポイント新教育課程実践<全6巻>No.6 発展的指導・補充指導50のポイント	共著	平成15年3月1日	教育開発研究所	編集 加藤幸次 4章小学校—発展的・補充的指導の実践プラン (pp128～131) 社会：の興味・関心に応じた課題選択によるグループ別指導について
8 定本 総合的な学習ハンドブック	共著	平成15年10月10日	ぎょうせい	編集代表 児玉邦宏 編者 浅沼茂・佐藤真・高瀬雄二 1-10 命・性と総合的な学習 (pp116～117)
9 教職研修総合特集 クローズアップ<学校の課題解決>②習熟度別指導・少人数指導を成功させる40のポイント	共著	平成16年6月1日	教育開発研究所	編集 浅沼茂(東京学芸大学) 第3章<小学校における実践的ポイント>10 理科における課題選択と習熟度別指導・少人数指導 自主的な学習活動を前提に計画する (pp121～126)
10 学力向上をめざす 個に応じた指導の理論	共著	平成16年10月1日	黎明書房	加藤幸次監修 全国個性化教育研究連盟編著 第4章小学校社会科 学力向上をめざす個に応じた社会科指導の理論と実践 (pp56～64)
11 教職研修 “信頼される学校づくり”に向けたカリキュラムマネジメント(全3巻)第3巻 一人ひとりの学びを育む少人数指導のマネジメント	共著	平成18年4月1日	教育開発研究所	編集 浅沼茂 教科横断的な単元計画と少人数指導(社会、総合、理科、保健体育他) (pp117～120)
12 教職研修総合特集 学校の人材育成力校長・教頭の出番2 ミドルリーダーを育てる71人が語る現場リーダー・頼れる先輩	共著	平成19年4月1日	教育開発研究所	編集 佐久間茂和 (pp146～147)「経験に裏付けされた見識を若手教員に背中で伝えている」
13 「医療に生かされる情報ネットワーク」(第5学年)	単著	令和4年2月18日	日本文教出版	小学校5年生の情報単元で医療と情報を関連させる実践事例を開発しwebでmy実践事例を公開した。
14 社会科のABC 準拠「社会の授業はこれで解決!資料活用編」	共著	令和6年10月31日	日本文教出版	監修 國學院大学 教授 安野 功 小学校社会の授業で資料を活用する具体的な実践事例について6名の小学校現場の教員から厚め、各学年、各資料の活用の仕方を具体的に取り上げ事例実践を資料活用チームリーダーとして編集した。
(学術論文) 1 「小学校総合的な学習の時間における題材(テーマ)決定に関する一考察」	単著	平成16年1月20日	東京学芸大学大学院修士論文	子どもが主体的に総合的な学習の時間の学習活動の題材の設定をするための研究

2「特別活動の理論と実践」における教育内容・方法に関する開発研究－特別活動を指導する実践的指導力の養成を中心として－	共著	平成9～11年 平成12年3月	文部省助成による教職課程における教育内容・方法に関する開発研究「教育課程及び指導方法に関する科目・特別活動の指導方法」部門研究報告書	研究代表者 下田好夫（信州大学教育学部教授） 5節 特別活動と社会教育＜実践報告＞pp45～46 特別活動と社会教育について「エンカウンターゲームが教室での特別活動のどのようによ効か」
3 文部科学省委嘱研究 日常生活と学習内容の関連性を重視した教材集	共著	平成16年3月	日常生活教材作成研究所会 （国立教育政策研究所内）	研究代表 国立教育政策研究所次長 小田豊 総合的な学習の時間における実践発表 人の誕生と成長の秘密を探ろう－男の子・女の子 その時の心と体は－
4 東京成徳大学子ども学部紀要 第16号	共著	令和8年3月	東京成徳大学子ども学部紀要	小学校社会科教育における、個別最適な学びと共同的な学びについての実践的研究
（その他） 1 社会科・生活科 授業の探求14 社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会	共著	平成8年8月 1日2日	社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会	会長 大野蓮太郎 国立教育研究所名誉所員 研究テーマ「総合的な学習を見据えたこれからの社会科・生活科の授業」 テーマ別分科会 第5学年②マルチメディアを利用して問題解決能力を育てる－インターネットを利用して－（pp19～25）
2 平成8年度 第28回協力指導組織研究全国大会（東京大会）千代田区立番町小学校	共著	平成8年10月 11日12日	全国協力指導組織研究協議会	第4分科会 提案2「学習用ソフトウェアの開発と協力教授におけるコンピュータの活用」（pp44～47）
3 第48回 学校視聴覚教育全国大会 東京・足立区大会 東京都小学校視聴覚教育研究会研究発表	共著	平成8年12月 3日	東京都小学校視聴覚教育研究会研究発表	公開保育・授業学習指導案 第6学年 社会科学習指導案「世界の中の日本」インターネットを活用した公開授業
4 社会科・生活科 授業の探求16 社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会 公開授業（足立区ギャラクシティ）	共著	平成10年8月 4日5日	社会科教育研究センター・生活科の授業を探求する会	会長 加藤幸次 上智大学 研究テーマ「総合的な学習を見据えたこれからの社会科・生活科の授業」 公開授業案 第6学年「天下統一のゆくえ」の学習をとおして（pp8～11）
5 個性を育てる 特集 総合学習の理論と実践Ⅲ 第15号紙上发表	共著	平成13年6月 23日	全国個性化教育研究連盟編著 （現：日本個性化教育学会）	「知らせよう！伝えよう！ぼくたち私たちの花畑」（pp63～66）
6 個性を育てる ブックレット黄本 シリーズ第1号紙上发表	共著	平成14年9月 6日	全国個性化教育研究連盟編著	子どもの知りたいから出発した学習が気がついてみたら総合に（pp29～32）
（実践発表等） 1 第9回 朝日 CAI シンポジウム 実践セミナー提案	単著	平成4年8月	朝日 CAI シンポジウム実践セミナーでの発表	小学6年社会科 歴史新聞作りを通してのコンピューターリテラシーの育成及び道具（ツール）としてのコンピュータ活用
2 NEC PC SEMI 小学校活用事例集 わくわくネットワーク	共著	平成4年	NEC	実践発表
3 先生とNECを結ぶ教育情報誌 PC ふれあい広場 特別号2	共著	平成8年	NEC	PC活用事例
4 一太郎スマイル、ジャストスマイル 開発協力者	共同開発	平成11年6月	ジャストシステム	教育統合ソフトウェア開発協力
5 朝日小学生新聞掲載 「西新井第一小学校4年2組見てみて 学校新聞（ゴミ、命を守る、交通安全、檜原村他）」	取材	平成16年3月 3日	朝日小学生新聞	足立区西新井第一小学校4年での実践を新聞紙上で発表

6 墨田区小学校教育研究会視聴覚部に講師として指導講評「よりよいコミュニケーションをめざす情報教育「社会科の実践を通して」	指導講評	平成20年7月9日	墨田区立小学校教育研究会情報部	墨田区立小学校教育研究会情報部にて講師として指導講評及び講演
7 東京都小学校視聴覚教育研究会実践授業講師	指導講評	平成21年10月23日	東京都小学校視聴覚教育研究会	板橋区立志村第一小学校5年研究授業指導講評 生きる力を育む視聴覚教育の追求 5年社会・総合「テレビコマーシャルを知ろう」
8 朝日小学生新聞掲載「3年社会科・総合学習の取り組み、社会科から出発した地元を紹介する地図を作ったよ」	取材	平成20年11月23日	朝日小学生新聞	台東区立松葉小学校3年での実践を新聞紙上で発表
9 台東区教育研究会社会科部 研究授業「くらしをささえる水」	研究授業	平成23年6月8日	台東区小学校教育研究会社会科部	台東区立富士小学校4年 研究紀要 pp6～19「社会的事象に対する理解を深め、社会に進んでかわり合おうとする児童の育成」
10 足立区小学校教育研究会社会科部研究授業 5年社会科「いまどんな自動車が求められているの」	研究授業	平成24年10月17日	足立区小学校教育研究会社会科部	調べて考える力を育てる社会科の授業～自ら進んで社会に関わろうとする指導法の工夫～ 研究紀要発表 pp29～44

(注) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。